

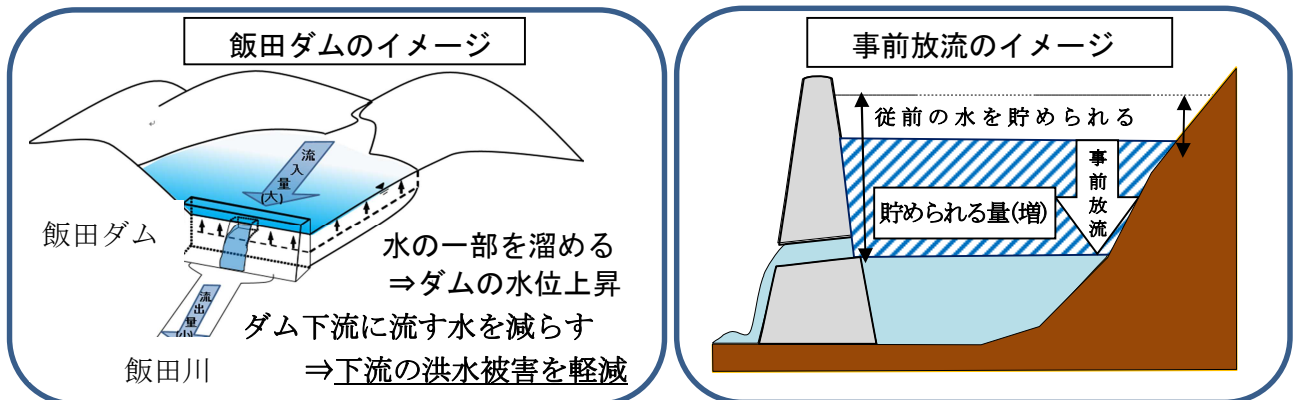
⑩ 飯田ダム の役割をご存じですか

今年もたくさんの雨が降る台風のシーズンとなりました。飯田ダムから、「大雨時のダムの役割」と「異常洪水時防災操作」について紹介します。

【大雨時の飯田ダムの役割】

飯田ダムでは、ダム上流から入ってくる水の一部をダムに溜め、下流の川に流す水の量を減らすことにより、下流の洪水被害を軽減する役割を果たしています（「飯田ダムのイメージ」参照）。

また、今年から大量の雨が予測される時には、ダムに溜まっている水を下流の川に事前に流し、大雨の前にダムの水位を下げ、溜められる水の量を従前より増やすことで、下流の洪水被害を軽減する機能を強化します（「事前放流のイメージ」参照）。

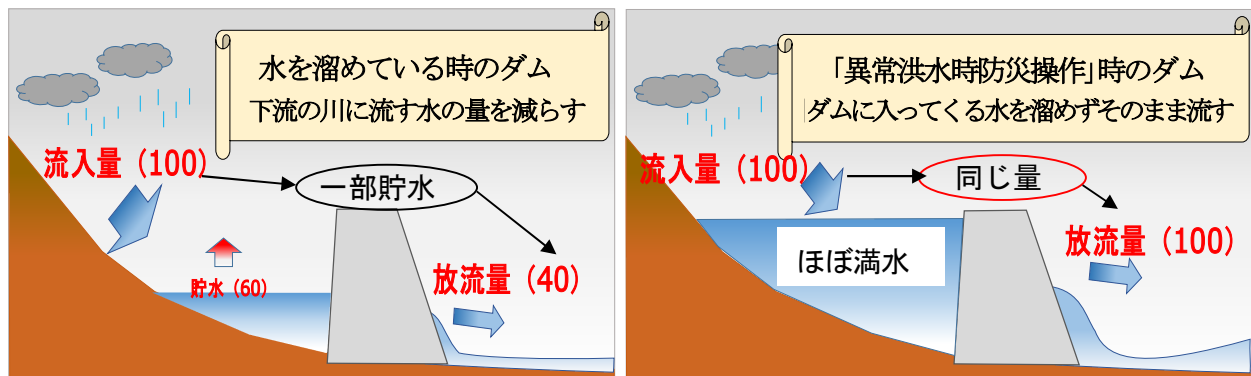


「異常洪水時防災操作」いわゆる緊急放流とは？

ダムの貯水量が満タンになり、これ以上水を溜められなくなった時に、ダムに入ってきた水がダムからそのまま自然に流れ出すような状態になることをいいます。

つまり、「ダムに入ってくる水の量＝ダムから流す水の量」とすることであり、「ダムが無かった場合の川の状態になること」です。

※ダムに溜まった水を余計に流すことではありません。



【飯田川下流(飯田ダム～涸沼川合流部) 区間におけるサイレンについて】

ダムから流す水の量が増えることにより、ダム下流の川で急激な水位の上昇が予測される場合は、警報局や警報車によりサイレンを鳴らしますので、サイレンが鳴った時は川のそばから離れてください。

問 茨城県飯田ダム管理事務所 Tel 0296-72-7950

茨城県水戸土木事務所ダム管理課 Tel 029-225-4515